

FOCUS

追いかける。大学生。

武庫川女子大・4年

渡邊美優紀さん

古民家族
代表

阪急夙川駅からバスに揺られること約30分。兵庫県西宮市山口町船坂で茅葺き古民家の修復を行っている学生団体がある。武庫川女子大の生活環境学部の学生が5年前に設立した「古民家族」だ。



活動のきっかけは、古材に興味を持つ学生が古民家の解体を依頼された工務店と出会ったことだった。歴史を持つ古民家の解体を惜しむ工務店と、古い技術を学びたいと思っていた学生らは意気投合。家主に頼み込み、古民家の修復を請け負うことが決まった。現在では学生と一般参加者が一緒に、主に月一で作業にあたっている。取材当日は約20人の学生と一般の方が談笑を交えながら和気あいあいと作業していた。

「活動当初は、木造なんて燃えやすいし、潰してしまえばよかったのにとという近隣の声もあった」。代表の渡邊美優紀さん（武庫川女子大・4年）は当時をそう振り返る。修復を行う前は家は傾き、ぼろぼろの状態であった。そんな状態から、時には職人を呼んで協力しながら着実に修復を進めていった。当初活動に消極的だった村の人達からも、次第に「きれいになった、直してくれてありがとう」と言われるようになったという。今では村の人が野菜を差し入れてくれたり、婦人会が豚汁を作ってくれるようになった。また古民家がお茶会の場として利用されたり、船坂ビエンナーレの会場の一つになるなど、地域のイベントにも活用されている。

古民家から学ぶ先人の知恵



渡邊さん自身は2年の時からこの活動に参加した。最初から古民家に興味を持っていたわけではなかったが、続けているうちに古民家が好きになったという。「ここにいる間はすべてを忘れていられる。心の癒し」と活動の魅力を語った。また、今までは人前で話したり仕切ることが得意ではなかったが、代表になったことで人に合わせた話し方ができるようになったという。

今後2年はこの古民家の修復作業が続く見通しで、その後の活動計画は未定だ。「フレンドリーさを忘れず、みんなで楽しく完成を迎えられたらいいですね」と渡邊さんは語った。

(聞き手 木村周平)

UNN関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式HP) <http://www.unn-news.com/>

共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです